新中期経営計画（2025年4月～2028年3月）

当金庫は2025年度からの3か年を100周年に向けたステップアップの期間とするため、新中期経営計画を策定しました。

Ⅰ 計画の名称

4Cプロジェクト2.0
～課題解決力強化の3か年～

Ⅱ 経営の基本方針

1. **お客さまのお役に立ちます**
   地域金融機関として、地元産業の発展と市民の福利のために奉仕する。
2. **地元と共に歩みます**
   金庫は、地元の発展・会員の繁栄とともに成長し、成長とともに寄与を大にする。
3. **みんなで明るく楽しい職場をつくります**
   役職員協力一致して、健全な自主経営を行い、働き甲斐のある明るい職場をつくる。

Ⅲ ビジョン（100周年に向けて目指す姿）

経営6ヵ条に則り、私たち神戸信用金庫は、**お客さま**（Customers）・**地域**（Community）にとってなくてはならない存在を目指し、複雑で不確実な時代であっても、自らを**変革**（Change）していくことで、伝統と先進性を兼ね備えた100年企業に向けて**挑戦**（Challenge）し続けます。

経営６ヵ条

第1条　お客さま・地域に対する姿勢
私たちとお客さま、そして地域は、信頼で結ばれたパートナーです。
情熱と誠実をモットーに信頼を勝ち得て、一歩一歩着実に貢献していきます。

第2条　職員同士の人間関係
私たち職員同士は、ファミリーです。
常に愛情を持って仲間に向き合い、「我が金庫」と心から思える職場を築きます。

第3条　経営に対する考え方
私たちは、「律と義」を重んじる金庫の一員です。
守るべきは守り、変えるべきは変え、何事にもスピード感を持って果敢にチャレンジします。

第4条　心の幸せの追求
私たちは、自立した個々人の集まりです。
強い信念と意志に基づいて人に尽くし、そのことで自分と自身も幸せになります。

第5条　物質的な幸せの追求
私たちは、誇り高い信用金庫人です。
公明正大に事業を進め、適切な利益を得ることで、私たち自身の豊かな暮らしを実現します。

第6条　お客さま（地域）、神戸信用金庫、職員の調和
私たちは、お客さまと金庫、自分たち職員が満足する「三方良し」の担い手です。
三者の調和と発展をもたらす素晴らしい仕事を為し遂げます。

Ⅳ 考動原理

考動原理『ABCから始めよう』

Action（積極的に行動しよう）、Basic（基本を大切にしよう）、Challenge to Change（変化への挑戦をしよう）の「ABC」を考え方の軸、行動の軸とします。

Ⅴ 基本戦略・主要施策

1. お客さま・地域戦略

(1) 組織的なプロセス管理を導入した強い営業力の発揮
(2) 課題解決型営業による本業支援、目利き力、対話力向上
(3) 店舗価値向上への取組み、会員組織の活性化
(4) 事業承継・人材採用支援の強化、地域活性化に資する事業支援

2. 店舗・チャネル戦略

(1) 新店舗戦略の立案と検証
(2) 店舗の役割の多面的な見直し
(3) ICT（情報通信技術）を活用したCX（体験価値）向上
(4) デジタルチャネルの強化

3. 収益戦略

(1) 新規預金先、新規融資先の獲得
(2) 市場実勢および信用コストを踏まえた貸出金利設定
(3) 手数料収入増強、課題解決に基づく手数料体系整備
(4) 事務効率化、オフィス改革による経費削減、システム投資効果の可視化

4. IT・事務戦略

(1) 事務効率化に向けた業務プロセス分析、簡素化、省力化
(2) 本部への事務集中化、ペーパーレス化、外部委託検討
(3) 営業支援システムの見直し
(4) 事務リスク管理体制の充実・強化
(5) DX戦略の策定と実行

5. 人材戦略

(1) 当庫考動原理の確立と定着
(2) 人材の採用強化
(3) エンゲージメントを高める各種施策の実施
(4) 職員の早期戦力化、レベルアップを図る研修の充実
(5) 健康経営の実践

6. SDGs推進・神戸信金ブランド戦略

(1) SDGs宣言を意識した行動
(2) ESG（環境、社会、企業統治）投資の取組み
(3) 神戸信金のブランド価値を高める仕組み

7. リスク管理戦略

(1) 金利上昇期におけるALM機能の高度化
(2) 信用リスク管理データの収集、蓄積、分析
(3) サイバーセキュリティの管理態勢の強化

8. 経営管理戦略

(1) マネロン・テロ資金供与・拡散金融対策の実施
(2) 法令等遵守態勢の強化
(3) 内部監査の高度化に向けた対応の強化